|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第２部 第２章　現代世界の諸地域　　４節　インド ―経済成長に関連づけて考察 | | |
|  | １　急速な経済成長を支えた産業の発展 | 教科書  p.256～257 | 年　　　月　　　日 |

**年　　　組　　　番／名前**

部分サンプル　※本資料はサンプルのため、内容が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

□学習課題

Q：インドはなぜ，急速な経済成長を続けているのだろうか。

＜学習のポイント＞

（1）インドの工業の発展を，経済の自由化という側面から考察する。

（2）近年，インドのICT産業が成長している背景を考察する。

●自由化で進んだ経済の成長

* 独立後のインドの工業化

…　鉄鉱石や石炭などの豊かな鉱産資源を用いて自給自足型の工業発展を推進

→　製品の国内生産は実現できたが，外国資本を排除したことで技術革新は後れた

→　国際競争力の喪失

* 1980年代　　　　政府による経済統制の緩和

1991年〜　　　 〔①　**新経済政策**　　〕を導入して，経済の自由化を本格的に推進

→　100％外国資本による事業も可能になり，工業生産は急速に成長

●急成長した自動車産業

2000年代　　　　〔②　　**自動車産業**〕が盛んに

　自動車産業の集積地

　…　デリーやマハーラーシュトラ州西部，ベンガル―ル，チェンナイなど

→　都市郊外の工業団地には国内企業のほか，外国資本の自動車の組み立て・部品工場などが進出

* インドの巨大市場

　…　人口が多く，巨大な市場を抱える

　→　自動車の多くは国内販売

近年，メキシコやアフリカ諸国などへの輸出も増加

●経済成長をけん引するICT産業

部分サンプル

* 〔③　　**情報通信技術（ICT）産業**　　〕の発展

　…　経済成長をけん引する重要な産業となる

…　数学やコンピュータ技術の教育に力を入れてきた

…　イギリスの植民地だったことから，英語に堪能な人材が多い

…　当初はアメリカ合衆国などへ技術者が渡り，ソフトウェアの開発に携わる

　　→　現在はインド国内での生産が主流

…　外国からの受注や製品の輸出はインターネットを使って即座に対応

…　近年は人工知能やIoTなど先端分野へ展開

…　ベンガルールなどの都市にソフトウェアテクノロジーパークを整備

→　政策でICT産業の成長を後押し

●経済成長と生活の変化

* ICT産業の成長や外国資本の導入

伝統や慣習を重視する生活様式に変化

…　ICT産業の多くはジャーティ間の分業によらない仕事

…　比較的所得の高い〔④　　**新中間層**〕とよばれる人々の出現

→　彼らの旺盛な消費が次なる投資をよび込むという経済成長の回路が出現

インドを有望な市場として期待

…　〔⑤　　**BRICS**　　〕の一国として注目を集める

▼確認

Q：インドの経済成長をけん引するICT産業は，どのような要因があって成長を遂げたのか，説明しよう。

**（例）経済の統制を緩め，企業の設立や活動が自由となり，100%外国資本による事業を可能としたことや，もともと数学やコンピュータ技術の教育に力を入れていたこと，英語に堪能な人が多かったことを生かして，ICT産業が急速に進展した。**